



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 東急不動産ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3289 URL <http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大隈 郁仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 兼松 将興 TEL 03-5414-1143  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	608,847	21.4	54,999	30.5	48,354	38.1	29,108	34.0
29年3月期第3四半期	501,664	△8.5	42,130	△10.9	35,012	△9.3	21,725	△8.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 27,156百万円 (152.8%) 29年3月期第3四半期 17,767百万円 (△18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.82	—
29年3月期第3四半期	35.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	2,197,900	465,484	21.0	757.47
29年3月期	2,067,152	446,307	21.4	726.59

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 461,119百万円 29年3月期 442,320百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.50	14.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	3.9	73,500	0.4	64,000	0.6	34,500	9.5	56.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料14ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	640,830,974株	29年3月期	640,830,974株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	32,068,802株	29年3月期	32,066,159株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	608,763,781株	29年3月期3Q	608,766,665株

(注) 当社は、当社及び当社子会社の取締役等に対する「役員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、平成30年2月6日に弊社ウェブサイトへ掲載する予定です。

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	9
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	10
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	12
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	12
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	14
(セグメント情報) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,088億円（対前第3四半期+21.4%）、営業利益550億円（同+30.5%）、経常利益484億円（同+38.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益291億円（同+34.0%）となりました。

オフィス・マンション市況が堅調に推移する中、当期の業績は通期予想に対して順調に推移しております。都市事業セグメントにおける投資家向けのビル等売却収益の増加に加え、住宅事業セグメントにおける分譲マンションの売上増加や仲介事業セグメントの好調等により増収増益となりました。

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	通期予想	進捗率 (%)
売上高	5,017	6,088	1,072	8,400	72.5
営業利益	421	550	129	735	74.8
経常利益	350	484	133	640	75.6
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	217	291	74	345	84.4

## 四半期別売上高・営業利益（累計）

(億円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
30年3月期 売上高	1,839	4,080	6,088	—
29年3月期 売上高	1,458	3,193	5,017	8,085
30年3月期 営業利益	174	350	550	—
29年3月期 営業利益	94	253	421	732

セグメント別では、都市事業、住宅事業、管理事業、仲介事業の4つのセグメントが増収増益、ウェルネス事業セグメントが増収減益、ハンズ事業セグメントが減収増益、次世代・関連事業セグメントが減収減益となっております(対前第3四半期)。

## 売上高

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	通期予想	進捗率 (%)
合計	5,017	6,088	1,072	8,400	72.5
都市	1,430	1,923	493	2,535	75.9
住宅	386	771	385	1,211	63.7
管理	1,071	1,143	72	1,597	71.6
仲介	528	669	141	913	73.3
ウェルネス	673	692	19	974	71.1
ハンズ	741	741	△0	987	75.1
次世代・関連事業	338	311	△27	418	74.5
全社・消去	△150	△163	△13	△236	—

## 営業利益

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	通期予想	進捗率 (%)
合計	421	550	129	735	74.8
都市	339	366	27	473	77.3
住宅	△19	69	88	78	89.1
管理	46	53	7	83	64.3
仲介	66	91	26	123	74.6
ウェルネス	53	31	△22	58	54.0
ハンズ	3	5	2	1	370.0
次世代・関連事業	△19	△20	△1	△15	—
全社・消去	△49	△47	2	△66	—

① 都市事業

売上高は1,923億円（対前第3四半期+34.5%）、営業利益は366億円（同+7.8%）となりました。

投資家向けのビル等売却収益の増加、既存物件での賃貸収益の改善に加え、平成28年11月より連結子会社となった㈱学生情報センターの寄与等により増収増益となりました。

また、新規開業案件として平成29年4月に「キュープラザ二子玉川」（東京都世田谷区）、11月に「心齋橋筋二丁目ビル」（大阪府大阪市）、12月に「新橋三丁目プレイス」（東京都港区）が開業、いずれも満室稼働にて順調に運営を開始しております。

なお、空室率（オフィスビル・商業施設）は既存オフィスビルでの入居が進んだことから0.4%と平成29年3月末から改善、引き続き低水準を維持しています。

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期	通期予想
売上高	1,430	1,923	493	2,490	2,535
営業利益	339	366	27	449	473

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期
賃貸（オフィスビル）	286	287	1	377
賃貸（商業施設）	328	325	△3	438
資産運用等	394	725	332	1,022
住宅賃貸等	422	586	164	653

空室率（オフィスビル・商業施設）

27年3月期末	28年3月期末	29年3月期末	当第3四半期末
2.8%	0.9%	2.0%	0.4%

主な新規開業案件

	用途	開業時期	延床面積
キュープラザ二子玉川	商業	29年4月	3千㎡
心齋橋筋二丁目ビル	商業	29年11月	1千㎡
新橋三丁目プレイス	ホテル・商業	29年12月	4千㎡

② 住宅事業

売上高は771億円（対前第3四半期+100.0%）、営業利益は69億円となりました。

分譲マンションにおける計上戸数の増加や高価格帯物件の増加による売上増加に加え、土地の一括売却が増加したこと等により増収増益となりました。

なお、分譲マンションは「ブランズ渋谷常盤松」（東京都渋谷区）、「ブランズタワー御堂筋本町」（大阪府大阪市）、「ブランズタワー・ウェリス心齋橋SOUTH」（大阪府大阪市）等を計上いたしました。また、販売については引き続き堅調に推移しており、完成在庫は前期末から減少、マンションの通期売上予想に対する契約済み割合も、期首の54%から89%（同△5P）と着実に進捗しております。

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)		当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)		比較	前期		通期予想	
売上高		386		771	385		1,085		1,211
営業利益		△19		69	88		97		78

売上高内訳

(消去前・億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)		当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)		比較	前期	
マンション	714戸	319	1,021戸	627	308	1,560戸	967
戸建	196戸	55	54戸	25	△30	238戸	76
その他	—	11	—	118	107	—	42

供給販売戸数

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)		当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)		完成在庫数	
	新規供給戸数	契約戸数	新規供給戸数	契約戸数	29年3月期末	当第3四半期末
マンション	1,060戸	1,017戸	1,021戸	918戸	457戸	306戸
戸建	67戸	92戸	41戸	55戸	15戸	7戸

③ 管理事業

売上高は1,143億円（対前第3四半期+6.7%）、営業利益は53億円（同+15.4%）となりました。

（株）東急コミュニティーにおいて、管理ストックがマンション、ビルともに順調に拡大しております。管理ストックの拡大に加え、リフォーム事業の強化・拡大を目的に設立された（株）東急Re・デザインが平成29年10月から営業を開始、ビル等の工事売上が増加したこと等により増収増益となりました。

なお、平成29年12月末のマンション管理ストックは822千戸（うち総合管理戸数519千戸）と、公営住宅等の指定管理者案件を中心に着実に拡大しております。

（億円）

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期	通期予想
売上高	1,071	1,143	72	1,486	1,597
営業利益	46	53	7	81	83

売上高内訳

（億円）

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期
マンション	777	803	27	1,084
ビル等	294	340	46	402

期末管理物件数

	27年3月期末	28年3月期末	29年3月期末	当第3四半期末
マンション(戸)	678,479	715,660	741,624	822,507
ビル(件)	1,360	1,453	1,483	1,515

④ 仲介事業

売上高は669億円（対前第3四半期+26.8%）、営業利益は91億円（同+39.4%）となりました。

東急リバブル(株)における売買仲介については、不動産流通市場が引き続き堅調に推移する中、新規店舗の出店やサービスメニューの拡充・強化に努め、リテール部門・ホールセール部門ともに取引件数・成約価格が上昇いたしました。売買仲介の売上増加に加え、不動産販売における買取再販事業の売上増加等により増収増益となりました。

（億円）

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期	通期予想
売上高	528	669	141	821	913
営業利益	66	91	26	113	123

売上高内訳

（億円）

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期
売買仲介	368	394	26	519
販売受託	16	16	0	28
不動産販売	128	238	110	251
その他	15	21	6	23



## ⑤ ウェルネス事業

売上高は692億円（対前第3四半期+2.9%）、営業利益は31億円（同△41.5%）となりました。

シニア住宅や都市型ホテルの東急ステイにおける新規稼働による売上増加に加え、スキー場や会員制リゾートホテルの東急ハーヴェストクラブ等の既存施設が堅調に推移し増収となったものの、別荘・会員権販売において前年同期に別荘地の売上計上があったこと等から減益となりました。

なお、新規施設として平成29年7月にシニア住宅の「グランクレール世田谷中町」（東京都世田谷区）、10月に会員制リゾートホテルの「東急ハーヴェストクラブ那須Retreat」（栃木県那須郡）、11月に都市型ホテルの「東急ステイ京都両替町通」（京都府京都市）が開業いたしました。

(億円)					
	前第3四半期 (28. 4. 1~28. 12. 31)	当第3四半期 (29. 4. 1~29. 12. 31)	比較	前期	通期予想
売上高	673	692	19	944	974
営業利益	53	31	△22	76	58

## 売上高内訳

(億円)					
	前第3四半期 (28. 4. 1~28. 12. 31)	当第3四半期 (29. 4. 1~29. 12. 31)	比較	前期	
リゾート運営	232	239	7	354	(ゴルフ場、ハーヴェストクラブ、スキー場等)
オアシス	126	128	2	167	(フィットネスクラブ等)
シニア住宅	47	56	9	65	
東急ステイ	76	79	4	100	(都市型ホテル)
福利厚生代行	65	68	3	89	
別荘・会員権販売	39	18	△21	48	
その他	89	104	15	120	

## ⑥ ハンズ事業

売上高は741億円（対前第3四半期△0.0%）、営業利益は5億円（同+53.2%）となりました。

㈱東急ハンズにおいて既存店の減収（同△2.7%）等により減収となったものの、費用の減少等により増益となりました。

なお、新規店舗として平成29年4月に「東急ハンズあまがさきキューズモール店」、9月に「東急ハンズ千葉店」が開業、着実な事業拡大に努めております。

(億円)					
	前第3四半期 (28. 4. 1~28. 12. 31)	当第3四半期 (29. 4. 1~29. 12. 31)	比較	前期	通期予想
売上高	741	741	△0	972	987
営業利益	3	5	2	3	1

## ⑦ 次世代・関連事業

売上高は311億円（対前第3四半期△7.9%）、20億円の営業損失となりました。

リフォーム事業の一部を管理事業セグメントにおいて平成29年10月から営業を開始した(株)東急Re・デザインに移管した影響等により減収、海外事業の費用増加等により減益となりました。

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期	通期予想
売上高	338	311	△27	496	418
営業利益	△19	△20	△1	△19	△15

## 売上高内訳

(億円)

	前第3四半期 (28.4.1~28.12.31)	当第3四半期 (29.4.1~29.12.31)	比較	前期
リフォーム・注文住宅	249	205	△44	354
造園建設	70	79	9	117
海外事業等	19	27	9	24

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末においては、資産の部で仕掛販売用不動産や投資有価証券の増加等により前期末より合計1,307億円増加、負債の部でも有利子負債の増加等から前期末より合計1,116億円増加しております。

(億円)

	前第3四半期末	当第3四半期末	(参考) 29年3月期末
総資産	21,397	21,979	20,672
総負債	17,071	17,324	16,208
純資産	4,326	4,655	4,463
うち自己資本	4,287	4,611	4,423
自己資本比率	20.0%	21.0%	21.4%
期末有利子負債	12,549	12,730	11,379
DEレシオ	2.9倍	2.8倍	2.6倍

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	経常利益 (億円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (億円)
通期	8,400	735	640	345

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)56円67銭

平成29年11月9日発表の業績予想の変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	62,885	70,816
受取手形及び売掛金	27,391	26,026
有価証券	5,403	13,654
商品	12,023	12,594
販売用不動産	213,239	200,002
仕掛販売用不動産	199,431	262,517
未成工事支出金	5,948	8,859
貯蔵品	779	811
その他	61,066	72,518
貸倒引当金	△143	△95
流動資産合計	588,025	667,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	394,607	407,312
減価償却累計額	△169,750	△178,613
建物及び構築物（純額）	224,857	228,699
土地	815,232	821,249
建設仮勘定	77,129	78,122
その他	62,025	63,611
減価償却累計額	△38,465	△39,872
その他（純額）	23,560	23,738
有形固定資産合計	1,140,779	1,151,810
無形固定資産		
のれん	87,975	83,909
その他	23,339	25,501
無形固定資産合計	111,315	109,410
投資その他の資産		
投資有価証券	119,314	158,499
敷金及び保証金	68,664	69,276
その他	39,754	41,903
貸倒引当金	△701	△704
投資その他の資産合計	227,032	268,974
固定資産合計	1,479,126	1,530,195
資産合計	2,067,152	2,197,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,791	26,303
短期借入金	257,025	189,783
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	60,000	133,000
未払法人税等	9,781	13,340
引当金	10,955	5,603
その他	139,183	133,118
流動負債合計	537,737	511,149
固定負債		
社債	120,000	165,825
長期借入金	680,867	774,396
長期預り敷金保証金	175,218	179,723
退職給付に係る負債	29,062	29,545
引当金	82	98
その他	77,875	71,677
固定負債合計	1,083,106	1,221,267
負債合計	1,620,844	1,732,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,000	60,000
資本剰余金	118,704	119,188
利益剰余金	243,131	264,016
自己株式	△1,790	△2,277
株主資本合計	420,045	440,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,792	13,879
繰延ヘッジ損益	—	82
土地再評価差額金	8,069	8,069
為替換算調整勘定	1,089	138
退職給付に係る調整累計額	△2,675	△1,978
その他の包括利益累計額合計	22,275	20,191
非支配株主持分	3,987	4,365
純資産合計	446,307	465,484
負債純資産合計	2,067,152	2,197,900

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	501,664	608,847
営業原価	389,179	477,534
営業総利益	112,485	131,313
販売費及び一般管理費	70,354	76,313
営業利益	42,130	54,999
営業外収益		
受取利息	74	78
受取配当金	523	350
その他	319	495
営業外収益合計	918	925
営業外費用		
支払利息	6,240	5,925
その他	1,796	1,644
営業外費用合計	8,036	7,570
経常利益	35,012	48,354
特別利益		
固定資産売却益	116	2
投資有価証券売却益	82	3
特別利益合計	199	6
特別損失		
災害による損失	1,158	—
建替関連損失	—	665
減損損失	55	339
事業整理損	580	—
その他	322	79
特別損失合計	2,116	1,083
税金等調整前四半期純利益	33,096	47,277
法人税等	11,366	18,033
四半期純利益	21,729	29,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,725	29,108

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	21,729	29,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	△1,913
繰延ヘッジ損益	—	82
為替換算調整勘定	1,016	881
退職給付に係る調整額	708	696
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,272	△1,835
その他の包括利益合計	△3,961	△2,087
四半期包括利益	17,767	27,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,806	27,024
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	132

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	都市	住宅	管理	仲介	ウェルネス	ハンズ	次世代・ 関連事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高									
外部顧客に対する 売上高	141,367	38,521	100,421	51,793	66,921	73,666	28,972	—	501,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,645	28	6,673	968	405	479	4,805	△15,006	—
計	143,013	38,550	107,095	52,762	67,326	74,145	33,778	△15,006	501,664
セグメント利益 (△損失)	33,927	△1,887	4,632	6,563	5,314	342	△1,871	△4,890	42,130

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	6
のれんの償却額	△1,866
全社費用 ※	△3,030
合計	△4,890

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	都市	住宅	管理	仲介	ウェルネス	ハンズ	次世代・ 関連事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高 外部顧客に対する 売上高	190,503	77,074	106,999	64,555	68,736	73,561	27,417	—	608,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,824	19	7,322	2,331	509	551	3,698	△16,256	—
計	192,327	77,093	114,321	66,886	69,246	74,112	31,116	△16,256	608,847
セグメント利益 (△損失)	36,580	6,932	5,347	9,148	3,106	524	△1,963	△4,676	54,999

(注) 1. セグメント利益 (△損失) の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	107
のれんの償却額	△1,866
全社費用 ※	△2,917
合計	△4,676

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社（持株会社）に係る費用であります。

2. セグメント利益 (△損失) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。